
今日から生徒会!

絶望先生

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今日から生徒会！

【Nコード】

N0730W

【作者名】

絶望先生

【あらすじ】

生徒会に入る立花勇人

そしてその勇人と生徒会の仲間の物語！！！！

生徒会です（前書き）

怪我でお休みしていました

生徒会です

高校1年の春

俺は今日から明石高校の生徒だ

新しい学校生活 新しい部活 新しい友達
新しい教室

そして何より委員会

そんなのが楽しみだった

部活はテニス部に、委員会は無論生徒会だ

そして俺は生徒会の部屋の前の廊下にいる…

「ここが生徒会か…」

少し緊張してきたなあ…

そんな希望を胸に俺は部屋のドアをあけた

ガラガラ

「あのーすいません、生徒会に入りたいんですけど…」

「あら、君生徒会に入りたいの？」

うあー、きれいな人だなあー

…いけね

「はい、名前は…」

「ちょおーと君！この僕の天使に気安く話さないでほしいなあ！！！！」

なんだ？この人

「黙ってて、副会長は」

「フゴフ！！！」

「で、えっと名前はなんていうの？」

「僕は…」

「君が生徒会の希望者かい？」

元気そうな人だな…

「はい、そうですが…」

「大歓迎だ！！！」

「……は？」

「大歓迎だよ！！！！さっそくだが、この紙に記入を頼む」

「は…はあ…」

何なんだー!!!

「申しおくれたが、俺は 若徒 将矢、生徒会長だ！よろしく」

生徒会長！？

ビックリしたー！！

「はい、僕は立花 隼人です！」

「私は、上木 栄子よ」

「僕は副会長、東条 久です、先ほどはすいませんねえ」

「いえいえ、大丈夫ですって」

「それじゃあ、アンケート書きますね」

さてと…アンケートの一番は…

1、あなたの何部ですか

答テニス部

俺はテニスが好きだな

2、あなたの得意教科は

答体育

俺は体を動かすのが好きだ

だが…

3、あなたは女性に○○をしたことはありますか

……

なんじゃこりゃー!!!!!!

なんでアンケートにこんなもんが出てくんだよ!!!!!!
おかしーだろ!!!!!!

なんで部活と教科を聞いたのに

なんでそこで女性が出てくるんだよ!!!!!!

つーか、なんで○○何だよ!!!!!!

告白したことはあるのかって聞きたいのかよ!?

とりあえず飛ばすか…

4、あなたの趣味は何ですか?

何で今度は普通にもどるんだ…

まあいいや

答漫画を読む

まあ面白いからな

しかし!

5、死ね死ね死ね死ね死ね死ね死ね死ね死ね死ね死ね死ね死ね死ね死ね死ね

オイー！！！！！！

なんかとんでもないことになっているんだけども!!!!!!!!!!!!

何で死ね死ねが出てくんのー!?

やべえよ、頭がおかしくなりそうだ

こしも飛ばすか

6、「ひろし!!!!!!」しっかりしろ!!!!ひろしいいいいいいい!!!!!!」

なんで途中からひろしが出てくんだよ!!!!!!!!!!!!

つーかどっからひろし出てくんだよ!!!!!!

もーだめだ、ぶっ倒れたい

気持ちが悪くなるも俺は記入する

7、「ひろし!!!!!!死ぬな!!!!!!ひろし!!!!!!」

「くそ……ゆるさねえぞ、女性○○」

だから何でひろしが出てくるだよ……！！！！！！

つーかひろしを殺したのが女性○○かよ!!!!

もう名前でないものが出てきちゃってるよ!!!!!!

ハ
ア
：

もう無理だ

「ハイ!!!」

そして俺の生徒会の物語の始まりだ!!

生徒会です（後書き）

どうでしたか：

ちよいと力を入れてみました

依頼（前書き）

第二話更新です！！

依頼

ここは生徒会

ガラガラ

「あのー…すいません」

ポニーテイルの女子が来る

「どうしたんだね…マイハニー」

「副会長は引っ込んでください」

「で用件は？」

「実はですね…」

〵〵〵〵〵〵〵〵〵〵

私は「加納^{かのう} 萌^{もえ}です、最近ストーカーに見られてる気がします」

「ストーカー？」

驚く生徒会一同

「ここ最近、誰かが見てるような気がして…」

「そんなバカなことってありえるのかねー」

「会長、まじめに聞いてあげましょうよ」

「で、最近のことか？」

「昨日からです…」

私が学校の帰り道を通ると
人の気配がして振り向くと
いなくなるんですよ…

「で、俺たちにストーカーをとっ捕まえて欲しいって訳か」

「そうゆうことです」

「よし、では生徒会執行委員、いって来い!!」

「僕ー!？」

く帰り道く

とりあえず僕は萌さんと帰り道を通ることになった

「とはいっても、本当にあらわれ…」

後ろをむく僕

「…?」

気のせいか

だがまた

「!!!!!!」

見つけたぜ!!!

「萌さん、見つけましたよ!!」

走り、ストーカーを取り押さえる

「って…誰だ?」

「お父さん…」

…え

「ハアーーーーー!!!!!!??」

~~~~~

「すまない、萌がちゃんと学校に行けてるか確認していたんだ…」

「なら、家で言えればいいじゃん」

「中々口から出せないんだよ」

「そうゆうことでか…おいおっさん、もうやんじゃねえぞ」

そして…

「これから生徒会に入る、加納 萌です!!!!」

憧れたのかはしらんが

生徒会に入ってしまった萌

人数は5人

これから本当に生徒会が始まるのか!?

終わり!!



**依頼（後書き）**

お疲れ様でした…

## 会長の子供の世話（前書き）

気合でカバーだ！！

## 会長の子供の世話

（生徒会室）

「あ、ちよいと隼人、頼みがある」

「はい、何でしょうか会長」

突然の会長に声をかけられる

一体何なんだろうと思いつながら聞く隼人

「実は、俺の妹を俺が帰ってくるまで、世話してくれないか？」

「…え…」

「頼む！東条は学級でいないし、上木は買い物に…加納は一緒に買い物にいったので…」

「で、暇な僕にお願いと」

「そうゆうことだ！！ヨロシクな！俺は生徒会で仕事があるからな  
ー」

…会長大変だな…

さても僕は会長の妹さんを…

「あ…会長の家…どこだっけ」

く時間がたってく

「ここか…会長の家は…」

ゼエゼエ…

行く途中にあんな大きな坂があるとは…

ピンポーン

とりあえず、ピンポンを押す

…シーン

留守か…

でも妹がいると…

ガチャ

あ、あいた

さて会長の説明でも：

「…ふえ…ふえ…」

あ！！やばいやばい！！

泣いちゃう泣いちゃうって！！

どうするどうする！？

おおお、落ち着けはやとおお！！！！  
とりあえずー！！！！

「ほら、泣かないで、泣かないで」

「ふえくん…」

なんとか泣かずにすんだな

とりあえず用件を：

くしばらく時間が経ってく

「くくくとうけなんだ」

「お兄ちゃん、帰ってくるのおちよいの？」



何か言い方がかわいいなあ…

作者（あえて、妹の言い方は変になってるよ）

「ねえねえ」

？何を言うんだ

「枕投げしよ！」

とても妹とは思えない言葉をいったよ

「え…いいけど」

「じゃあ、いっくぞー」

なんとも健気な…

して、時間が経って…

「楽しかったー！」

「そうか…あははは」

ま、楽しいかな？

そして、隼人が妹を見ると

「グー…」

あらら、疲れて寝ちゃってるよ…  
僕も疲れたな…

〽一時間後〽

「悪いなー、校長の話が長くて…」

「グー…」

そこには、ソファで一緒に寝ている姿だった

「お疲れさん…隼人」

続く！

会長の子供の世話（後書き）

よしやー！……！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0730w/>

---

今日から生徒会!

2011年11月2日21時03分発行